

第6期堺市障害福祉計画・第2期堺市障害児福祉計画 障害福祉サービス等の進捗状況について（令和4年度上半期実績）

- 実績の数値のうち、平均値を算出している場合は、原則、小数点以下を四捨五入しているため、内数と合計等が合わない場合があります。

1. 訪問系サービス

■見込量と実績の状況

			第5期				第6期			
			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (上半期)	
			人/月	時間/月	人/月	時間/月	人/月	時間/月	人/月	時間/月
障害 種別 内訳	身体	見込量	1,260	61,614	1,303	63,995	1,352	59,050	1,394	60,365
		実績	1,260	59,970	1,271	61,448	1,355	65,654	1,377	66,448
	難病(※)	実績							28	1,353
	知的	見込量	707	14,934	754	15,914	754	16,703	804	17,860
		実績	657	13,200	687	13,723	745	15,243	783	15,839
	精神	見込量	1,234	19,816	1,326	21,265	1,394	26,282	1,515	28,548
		実績	1,240	20,130	1,317	22,401	1,414	24,033	1,462	24,996
	児童	見込量	149	3,423	158	3,608	102	1,922	93	1,744
		実績	97	1,359	86	1,367	101	1,462	102	1,354
	サ ー ビ ス 別 内 訳	居宅介護	見込量	2,743	51,637	2,909	54,598	2,945	54,527	3,119
実績			2,657	48,980	2,774	53,905	2,982	58,215	3,075	59,913
重度訪問介護		見込量	249	37,984	260	39,653	234	37,800	238	38,446
		実績	223	35,469	237	36,515	246	38,798	245	39,732
行動援護		見込量	38	1,104	41	1,179	92	2,406	110	2,877
		実績	55	1,482	69	1,782	91	2,285	102	2,578
同行援護		見込量	320	9,062	331	9,352	331	9,224	339	9,446
		実績	319	8,728	281	6,736	296	7,097	302	7,767
合 計	見込量	3,350	99,787	3,541	104,782	3,602	103,957	3,806	108,517	
	実績	3,254	94,659	3,361	98,938	3,615	106,395	3,724	109,990	
	実績/見込量	97.1%	94.9%	94.9%	94.4%	100.4%	102.3%	97.8%	101.4%	

(※) 手帳を所持していない難病の方の数値。大阪府への報告資料の統計上、「身体」の内数としている。

【現状と課題】

- 訪問系サービスの支給実績は、おおむね見込んだ水準です。
- しがしながら、訪問系サービスの多くの事業所で、「人材の確保・育成」が課題となっています。
- 障害者の在宅生活を支える基盤的なサービスとして、人材の確保・育成に向けた取組が必要であり、また、医療的ケアの必要な方や行動障害のある方など、障害特性に応じた専門性も求められています。

2. 日中活動系サービス

(1) 生活介護、自立訓練、就労移行、就労継続（A型、B型）、就労定着支援

■見込量と実績の状況

			第5期				第6期			
			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (上半期)	
			人/月	人日/月	人/月	人日/月	人/月	人日/月	人/月	人日/月
障害種別内訳	身体	見込量	1,129	19,320	1,202	20,368	1,161	20,905	1,209	21,793
		実績	1,097	18,787	1,105	19,254	1,161	20,498	1,206	21,426
	難病(※)	実績							31	433
	知的	見込量	2,520	48,620	2,619	50,016	2,847	49,875	2,990	52,245
		実績	2,600	49,598	2,673	51,168	2,754	53,390	2,854	55,650
	精神	見込量	1,261	19,052	1,344	20,086	1,779	29,195	2,032	33,401
実績		1,529	22,450	1,622	25,031	1,800	28,066	1,971	31,103	
サービス別内訳	生活介護	見込量	2,018	38,703	2,095	40,136	2,302	43,918	2,444	46,639
		実績	2,069	39,383	2,107	40,650	2,145	42,186	2,216	43,906
	自立訓練(機能訓練)	見込量	31	348	33	371	38	427	44	494
		実績	30	310	24	228	25	244	25	260
	自立訓練(生活訓練)	見込量	173	2,538	190	2,788	92	1,075	97	1,415
		実績	87	1,177	134	1,823	148	1,904	126	1,561
	就労移行支援	見込量	265	4,480	276	4,666	309	5,005	333	5,471
		実績	279	4,326	297	4,937	307	5,207	314	5,406
	就労継続支援(A型)	見込量	335	6,468	350	6,763	403	7,472	413	7,658
		実績	497	9,122	416	7,716	460	8,497	492	9,052
	就労継続支援(B型)	見込量	1,998	34,455	2,075	35,746	2,543	42,078	2,765	45,762
		実績	2,215	36,502	2,349	40,099	2,542	43,822	2,754	47,994
	就労定着支援	見込量	90		146		110		135	
		実績	49		73		86		104	
合計	見込量	4,910	86,992	5,165	90,470	5,797	99,975	6,231	107,439	
	実績	5,226	90,820	5,400	95,453	5,713	101,860	6,031	108,179	
	実績/見込量	106.4%	104.4%	104.5%	105.5%	98.6%	101.9%	96.8%	100.7%	

(※) 手帳を所持していない難病の方の数値。大阪府への報告資料の統計上、「身体」の内数としている。

(2) 療養介護

■見込量と実績の状況

	第5期		第6期	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (上半期)
	人/月	人/月	人/月	人/月
見込量	131	131	135	135
実績	135	132	128	128
実績/見込量	103.1%	100.8%	94.8%	94.8%

(3) 短期入所（ショートステイ）

■見込量と実績の状況

		第5期				第6期				
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (上半期)		
		人/月	人日/月	人/月	人日/月	人/月	人日/月	人/月	人日/月	
障害 種別 内訳	身体	見込量	225	1,552	237	1,634	196	1,282	197	1,284
		実績	195	1,323	153	1,077	148	999	154	1,045
	知的	見込量	486	3,511	506	3,656	483	3,151	503	3,286
		実績	458	3,065	374	2,589	370	2,613	362	2,651
	精神	見込量	8	47	9	53	10	64	10	68
		実績	9	105	8	87	10	111	9	100
	児童	見込量	164	891	173	940	140	914	130	848
		実績	127	701	86	544	92	580	97	578
合計	見込量	883	6,001	925	6,283	829	5,411	840	5,486	
	実績	789	5,194	621	4,297	620	4,303	622	4,374	
	実績/見込量	89.4%	86.6%	67.1%	68.4%	74.8%	79.5%	74.0%	79.7%	

【現状と課題】

- 日中活動系サービスの支給実績については、自立訓練（機能訓練）や就労定着支援は見込よりも少ない水準となっています。
- 就労継続支援（A型）の実績については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の水準に戻りつつあります。
- 生活介護、自立訓練（機能訓練、生活訓練）においては、令和2年7月から新型コロナウイルス感染症への対応により、臨時的な在宅でのサービス提供が認められています。
- 就労系サービスにおいては、令和3年4月から支援効果が認められた場合に、在宅でのサービス提供が認められています。
- 「ベルデさかい」では、濃厚な医療的支援を必要とする「超重症者（児）」「準超重症者（児）」を入所定員の30%以上受け入れることとしています。また、外部からの新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族等との対面の制限をしています。
- 短期入所においては、医療的ケアの必要な障害者等の対応や緊急利用の受け入れ体制の一層の充実、長期利用者への対応などの課題があります。

3. 居住系サービス

■ 見込量と実績の状況

			第5期		第6期	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (上半期)
			人/月	人/月	人/月	人/月
障害 種 別 内 訳	身体	見込量	149	150	220	222
		実績	214	234	248	249
	知的	見込量	1,011	1,039	1,081	1,119
		実績	1,008	1,047	1,095	1,119
	精神	見込量	88	90	143	159
		実績	110	146	179	205
別 内 訳 サ ー ビ ス	共同生活援助 (グループホーム)	見込量	802	835	1,004	1,062
		実績	887	988	1,099	1,160
	施設入所支援	見込量	446	444	440	438
		実績	445	439	423	413
合計		見込量	1,248	1,279	1,444	1,500
		実績	1,332	1,427	1,522	1,573
		実績/見込量	106.7%	111.6%	105.4%	104.9%

【現状と課題】

- グループホームの支給実績については、見込量を上回っています。
- グループホームにおいては、令和2年7月から新型コロナウイルス感染症への対応により、臨時的な在宅でのサービス提供が認められています。
- 障害者の重度化・高齢化が進むなか、今後も暮らしの場の整備を促進する必要があります。
- 特に、医療的ケアや行動障害等、重度障害者に対応したグループホームの整備が課題となっています。
- 職員の確保に加え、医療的ケアを必要とする方や行動障害のある方に対して適切な支援を行える職員の育成が課題となっています。
- 施設退所者、精神科病院退院者の移行先のひとつとして、グループホームの活用を図る必要があります。
- なお、施設入所支援では、外部からの新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族等との対面での面会を中止・制限しており、テレビ電話等の機能を活用して面会等を実施しています。

4. 相談支援

■見込量と実績の状況

			第5期		第6期	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (上半期)
			人/月	人/月	人/月	人/月
障害種別内訳	身体	見込量	767	870	682	767
		実績	478	534	588	621
	難病(※)	実績				9
	知的	見込量	1,072	1,210	1,454	1,629
		実績	1,006	1,144	1,270	1,344
	精神	見込量	796	911	1,408	1,594
		実績	876	1,125	1,286	1,426
	児童	見込量	232	265	20	23
実績		17	17	10	8	
サービス別内訳	計画相談支援	見込量	2,572	2,937	3,329	3,774
		実績	2,254	2,610	2,942	3,182
	地域移行支援	見込量	16	20	6	7
		実績	4	4	3	11
	地域定着支援	見込量	260	270	220	220
		実績	211	204	207	206
	自立生活援助	見込量	19	29	9	12
		実績	0	3	3	1
合計	見込量	2,867	3,256	3,564	4,013	
	実績	2,469	2,821	3,155	3,400	
	実績/見込量	86.1%	86.6%	88.5%	84.7%	

(※) 手帳を所持していない難病の方の数値。大阪府への報告資料の統計上、「身体」の内数としている。

《参考》堺市の計画相談・障害児計画相談実績の推移（実人数）

		令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和4年9月
障害者	障害福祉サービス等受給者数	9,434	9,815	10,200	10,427
	計画作成済み人数(人)(※)	5,751	6,249	6,711	6,943
	計画作成進捗率	61.0%	63.7%	65.8%	66.6%
障害児	障害児通所支援受給者数	2,685	2,857	3,160	3,378
	計画作成済み人数(人)	1,278	1,397	1,494	1,543
	計画作成進捗率	47.6%	48.9%	47.3%	45.7%

(※) 計画作成済み人数の中に、ケアプランにより支給決定を行った人数を含む。

【現状と課題】

- 計画相談支援の支給実績は増加しているものの、見込量よりも少ない水準です。
- 障害福祉サービスの利用者が、計画相談支援を利用できるように、相談支援体制の充実・強化が必要となっています。
- 相談支援事業所においては、いわゆる「1 人事業所」が多く、また、相談支援専門員の多くが他業務との兼務をしている現状があります。
- また、人材の確保・育成に加え、事務処理の効率化を課題に挙げている事業所も多くあります。
- 相談支援専門員は、年々増加はしていますが、その育成や地域とのネットワークの構築に向けた取組を続けていく必要があります。
- 地域移行支援、地域定着支援については、見込より下回っています。
- 地域生活への移行の支援においては、関係機関が連携し、様々な機会を捉えて、一人ひとりの状況や今後の希望等を把握し、また、地域生活のイメージを具体化し、それを伝えていく必要があります。
- 自立生活援助は、令和4年度上半期の実績が見込量を大きく下回っています。今後、サービスが適切に利用できるように、支援体制の確保・充実が必要となっています。

5. 地域生活支援事業

必須事業

(1) 相談支援事業等

■見込量と実績の状況

		第5期		第6期	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 上半期
障害者相談支援事業 基幹相談支援センター (箇所)	見込量	8	8	8	8
	実績	8	8	8	8
	実績/見込量	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
基幹相談支援センター等 機能強化事業	見込量	有	有	有	有
	実績	有	有	有	有
住宅入居等支援事業	見込量	有	有	有	有
	実績	有	有	有	有
障害児等療育 支援事業 (箇所)	見込量	9	9	8	8
	実績	7	7	7	7
	実績/見込量	77.8%	77.8%	87.5%	87.5%
発達障害者支援センター 運営事業(人/年)	見込量	1,726	1,742	1,997	2,016
	実績	1,959	1,848	1,934	1,040
	実績/見込量	113.5%	106.1%	96.8%	51.6%
成年後見制度 利用支援事業 (人/年)	見込量	16	16	50	50
	実績	33	44	66	42
	実績/見込量	206.3%	275.0%	132.0%	84.0%

(2) 意思疎通支援事業

■見込量と実績の状況

		第5期				第6期					
		令和元年度		令和2年度		令和3年度			令和4年 (上半期)		
		人/年	件/年	人/年	件/年	人/年	件/年	時間/年	人/年	件/年	時間/年
手話通訳者派遣事業	見込量	213	3,519	213	3,659	220	3,007	4,421	225	3,157	4,642
	実績	209	2,727	198	1,832	218	2,346	3,454	183	1,218	1,790
	実績/見込量	98.1%	77.5%	93.0%	50.1%	99.1%	78.0%	78.1%	81.3%	38.6%	38.6%
要約筆記者派遣事業	見込量	18	162	18	180	20	178	997	21	186	1,046
	実績	18	161	16	140	22	177	452	16	144	406
	実績/見込量	100.0%	99.4%	88.9%	77.8%	110.0%	99.4%	45.3%	76.2%	77.4%	38.8%
手話通訳者設置事業	見込量	8	/	8	/	8	/	/	8	/	/
	実績	8	/	8	/	8	/	/	8	/	/
	実績/見込量	100.0%	/	100.0%	/	100.0%	/	/	100.0%	/	/
重度障害者入院時 コミュニケーション事業	見込量	/	1,379	/	1,391	/	715	/	/	715	/
	実績	/	715	/	53	/	4	/	/	57	/
	実績/見込量	/	51.8%	/	3.8%	/	0.6%	/	/	8.0%	/

(3) 意思疎通支援者養成研修事業

■見込量と実績の状況

		第5期		第6期	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (上半期)
手話通訳者養成 入門コース (人/年)	見込量	/	/	20	20
	実績	/	/	7	25
	実績/見込量	/	/	35.0%	125.0%
手話通訳者養成講座 (人/年)	見込量	20	20	20	20
	実績	14	5	4	14
	実績/見込量	70.0%	25.0%	20.0%	70.0%
要約筆記者養成講座 (人/年) (※)	見込量	20	20	13	0
	実績	3	14	9	10
	実績/見込量	15.0%	70.0%	69.2%	-
盲ろう者通訳・ 介助者養成事業 (登録者数)	見込量	/	/	30	30
	実績	/	/	27	集計中
	実績/見込量	/	/	90.0%	/
失語症者向け意思疎通 支援者養成研修事業 (登録者数)	見込量	/	/	10	10
	実績	/	/	11	集計中
	実績/見込量	/	/	110.0%	/

(※) 要約筆記者養成講座は2か年での実施を想定していたことから、令和4年度の見込量は「0」としている。

(4) 盲ろう者通訳・介助者派遣事業

■見込量と実績の状況

	第5期		第6期	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (上半期)
見込量 (件/年)			1,975	2,025
実績			1,538	739
実績/見込量			77.9%	36.5%
見込量 (時間/年)			7,900	8,100
実績			5,448	2,605
実績/見込量			69.0%	32.2%

(5) 日常生活用具給付等事業

■見込量と実績の状況

		第5期		第6期	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (上半期)
介護・訓練支援用具 (件/年)	見込量	75	76	70	73
	実績	90	96	89	47
	実績/見込量	120.0%	126.3%	127.1%	64.4%
自立生活支援用具 (件/年)	見込量	262	265	264	275
	実績	242	280	237	120
	実績/見込量	92.4%	105.7%	89.8%	43.6%
在宅療養等支援用具 (件/年)	見込量	151	152	187	198
	実績	165	196	170	62
	実績/見込量	109.3%	128.9%	90.9%	31.3%
情報・意思疎通支援用具 (件/年)	見込量	192	194	205	203
	実績	209	180	173	128
	実績/見込量	108.9%	92.8%	84.4%	63.1%
排泄管理支援用具 (件/年)	見込量	21,834	22,030	25,776	27,232
	実績	22,864	23,253	23,902	12,073
	実績/見込量	104.7%	105.6%	92.7%	44.3%
居宅生活動作補助用具 (住宅改修費) (件/年)	見込量	26	26	40	43
	実績	34	42	25	15
	実績/見込量	130.8%	161.5%	62.5%	34.9%

(6) 移動支援事業

■見込量と実績の状況

			第5期				第6期			
			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (上半期)	
			人/年	時間/年	人/年	時間/年	人/年	時間/年	人/年	時間/年
障害 種別 内訳	身体	見込量	541	128,543	538	127,830	685	109,449	694	105,321
		実績	668	109,835	559	76,183	512	72,514	460	37,201
	知的	見込量	1,415	302,006	1,455	310,543	1,884	295,513	1,908	299,332
		実績	1,834	290,993	1,689	196,308	1,619	192,620	1,540	105,255
	精神	見込量	836	127,980	882	135,022	1,010	120,394	1,023	127,493
		実績	982	113,368	960	103,539	981	107,394	881	56,397
	児童	見込量	249	32,643	249	32,643	290	21,890	294	22,173
		実績	285	18,906	197	10,872	201	11,482	176	6,280
合計	見込量	3,041	591,172	3,124	606,038	3,869	547,246	3,919	554,319	
	実績	3,769	533,102	3,405	386,902	3,313	384,010	3,057	205,132	
	実績/見込量	123.9%	90.2%	109.0%	63.8%	85.6%	70.2%	78.0%	37.0%	

(7) 地域活動支援センター事業

■見込量と実績の状況

			第5期				第6期			
			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (上半期)	
			設置数	利用者数 (人/年)	設置数	利用者数 (人/年)	設置数	利用者数 (人/年)	設置数	利用者数 (人/年)
見込量			17	746	17	750	16	600	16	600
実績	A型	6	180	6	192	5	105	5	137	
	B型	8	162	8	218	8	210	8	263	
	入浴型	3	103	3	104	2	68	2	72	
	合計	17	445	17	514	15	383	15	472	
実績/見込量			100.0%	59.7%	100.0%	68.5%	93.8%	63.8%	93.8%	78.7%

(※) 利用者数(人/年)について、令和元年度～令和3年度の実績は、利用登録者のうち3月中に利用した人数。
令和4年度(上半期)の実績は、利用登録者のうち9月中に利用した人数。

任意事業

(1) 日中一時支援事業

■見込量と実績の状況

		第5期		第6期		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (上半期)	
		人日/年	人日/年	人日/年	人日/年	
障害種別内訳	身体	実績	239	62	60	33
	知的		2,572	2,165	2,069	1,051
	精神		14	1	0	0
	児童		4,102	3,432	2,948	1,329
合計		見込量	8,256	8,385	7,495	7,773
		実績	6,927	5,660	5,077	2,413
		実績/見込量	83.9%	67.5%	67.7%	31.0%

(2) その他の任意事業

■見込量と実績の状況

		第5期		第6期	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (上半期)
		人/年	人/年	人/年	人/年
訪問入浴事業	見込量	41	42	77	84
	実績	63	65	69	57
	実績/見込量	153.7%	154.8%	89.6%	67.9%
視覚障害者 生活訓練事業	見込量	115	115	109	109
	実績	109	94	85	81
	実績/見込量	94.8%	81.7%	78.0%	74.3%

【現状と課題】

- 地域生活支援事業は、事業によって、見込量と実績に差異が見られます。
- 発達障害者支援センター運営事業は、令和 4 年上半期実績が見込量の 50%を超えており、おおむね見込んだ水準で推移しています。
- 成年後見制度利用事業は、令和 3 年度より見込量を大幅に増やしていますが、令和 4 年度上半期実績が見込量の 84%に達しており、今後も増加するものと考えられます。
- 手話通訳者養成入門コースは、定員 20 名のところ 70 名以上の申込があり、部屋の定員等を勘案した 25 名が受講しています。手話通訳者養成講座の受講者も同様に、令和 3 年度に比べて増加しています。
- これらの背景には、おそらくオリンピック・パラリンピックにて手話通訳が注目され、手話に興味を持つ方が増加しているあらわれではないかと捉えています。「手話を学んでみたい」という方を取りこぼさないよう、市民向け手話講座や手話サークルの紹介など、積極的に行っています。
- 要約筆記者養成講座は、令和 2・3 年度は 2 か年コースでの実施としましたが、受講生の負担が大きかったことを鑑み、令和 4 年度は、再度 1 年間の講座に戻して実施しています。土曜日開催などにより、受講者は一定確保できています。
- 盲ろう者通訳・介助者養成事業、失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業においては、大阪府・大阪市・堺市・中核市との共同実施であることから、大阪府下全体の実績値を記載しています。ほぼ見込量通りの実績となっています。
- 日常生活用具給付等事業は、給付品目の見直しが課題となっており、ニーズや市場に流通している製品を参考に、随時、給付品目の追加や性能等の見直しを行っています。
- 移動支援事業は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛要請の影響もあり、令和 3 年度の実績及び令和 4 年度上半期は、見込量より少ない状況です。
- 地域活動支援センター事業は、引き続き、新型コロナウイルス感染症による利用制限などの影響が見られますが、令和 3 年度実績に比べると、改善が見られます。
- 日中一時支援事業は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛要請の影響もあり、令和 3 年度の実績は、令和 2 年度よりも少ない状況です。令和 4 年度は令和 3 年度と同じ程度の利用見込みです。
- 視覚障害者生活訓練事業においては、令和 3 年度実績人数に比べ、令和 4 年度実績人数は上回る見込みです。令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に少なくなり、また、コロナ禍においてオンライン訓練を新たに取り入れたことから、市民がニーズに合わせて、訓練方法を選べるようになことで、訓練の利便性が向上したことがその理由だと考えられます。

6. 障害児サービス

■見込量と実績の状況

		第1期				第2期			
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (上半期)	
		人/月	人日/月	人/月	人日/月	人/月	人日/月	人/月	人日/月
児童発達 支援事業	見込量	740	5,186	758	5,313	904	5,801	914	5,856
	実績	872	5,596	918	5,753	1,068	6,747	1,133	7,258
	実績/見込量	117.8%	107.9%	121.1%	108.3%	118.1%	116.3%	124.0%	123.9%
医療型児童 発達支援	見込量	65	569	63	552	52	409	51	401
	実績	57	448	47	415	43	403	30	299
	実績/見込量	87.7%	78.7%	74.6%	75.2%	82.7%	98.5%	58.8%	74.6%
放課後等 デイサービス	見込量	2,375	18,971	2,428	19,394	2,932	22,914	2,961	23,142
	実績	2,838	22,180	2,815	22,042	3,189	24,855	3,451	27,411
	実績/見込量	119.5%	116.9%	115.9%	113.7%	108.8%	108.5%	116.5%	118.4%

■見込量と実績の状況

		第1期		第2期	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (上半期)
		回/月	回/月	人/月	人/月
居宅訪問型 児童発達支援	見込量	53	79	1	1
	実績	1	0	0	1
	実績/見込量	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
保育所等 訪問支援	見込量	44	48	80	90
	実績	61	62	78	105
	実績/見込量	138.6%	129.2%	97.5%	116.7%
障害児相談支援	見込量	439	485	537	664
	実績	398	431	535	626
	実績/見込量	90.7%	88.9%	99.6%	94.3%

【現状と課題】

- 児童発達支援、放課後等デイサービスの支給実績は、おおむね本計画の見込を超える水準で推移しています。
- 保育所等訪問支援の支給実績は、おおむね本計画の見込みを超える水準で推移しています。
- 障害児相談支援の支給実績は、本計画の見込よりも少ない水準で推移しています。また、計画相談支援と同様の課題があり、計画相談支援と同様の方策を進めていく必要があります。

7. 発達障害者等に対する支援

■ 見込量と実績の状況

		第1期						第2期						
		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度 (上半期)			
		見込量	実績	実績/ 見込量	見込量	実績	実績/ 見込量	見込量	実績	実績/ 見込量	見込量	実績	実績/ 見込量	
発達障害者支援 地域協議会の開催	回/年	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	
発達障害者支援 センターによる 相談支援	件/年	2,513	2,919	116.2%	2,532	2,764	109.2%	3,057	2,968	97.1%	3,126	1,444	46.2%	
発達支援 延べ支援件数	件/年	1,753	1,909	108.9%	1,765	2,165	122.7%	2,043	2,316	113.4%	2,112	1,083	51.3%	
就労支援 延べ支援件数	件/年	760	1,010	132.9%	767	599	78.1%	1,014	652	64.3%	1,014	361	35.6%	
発達障害者支援 センターによる 関係機関への助言	件/年	82	15	18.3%	82	9	11.0%	15	5	33.3%	15	8	53.3%	
発達支援に伴う 助言件数	件/年	49	11	22.4%	49	8	16.3%	11	4	36.4%	11	8	72.7%	
就労支援に伴う 助言件数	件/年	33	4	12.1%	33	1	3.0%	4	1	25.0%	4	0	0.0%	
発達障害者支援 センターによる 外部機関や地域住民 への研修、啓発	回/年	27	21	77.8%	27	20	74.1%	21	12	57.1%	21	10	47.6%	
センター主催又は共催 で企画した研修	回/年	11	7	63.6%	11	7	63.6%	7	6	85.7%	7	2	28.6%	
講師派遣	回/年	11	10	90.9%	11	10	90.9%	10	3	30.0%	10	7	70.0%	
地域住民向け 講演会の開催等	回/年	5	4	80.0%	5	3	60.0%	4	3	75.0%	4	1	25.0%	
発達障害者や家族等に対する支援体制の確保														
ペアレントトレーニングや ペアレントプログラム等の 支援プログラム等の 受講者数	人/年							24	7	29.2%	30	10	33.3%	
ペアレントメンターの 人数(※)	-							ペアレントメンターやピアサポート活動については、発達 障害の当事者やその家族の支援として、当事者会や親 の会などの紹介及び当事者会の方による講演を実施し た。						
ピアサポートの活動への 参加人数(※)	-													

【現状と課題】

- 発達障害者支援センターにおいて、相談支援や関係機関への助言、研修、啓発活動等を実施しています。
- 学校園が専門家から指導助言を得ることができる、幼稚園早期支援員派遣、私立幼稚園巡回相談、支援学校のセンター的機能の活用、発達障害児等専門家派遣等の事業を実施しています。
- 乳幼児期から学齢期、成人期、高齢期へとつながる縦の連携及び医療・保健・障害福祉・児童福祉・教育・企業等との横の連携により、関係機関が本人の状況等を把握し適切な支援を行うことが重要です。特に、就学時、中学から高校・支援学校、就労移行時における支援の継続が課題となっています。
- 地域のこども園・幼稚園・学校・事業所など、各機関における支援力の向上が必要となっています。
- ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数について、コロナ禍であることから参加者数を絞ったため、見込量より実績が少なくなっています。